

「自分の変化を考察してみました!」

—「世界に通じる力を育てる」—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」—第 73 号—

こんにちは。NPO 法人 多言語広場（ピアザ）CELULAS の山田です。（以後セルラスと表記します）

記録的な暑さが続いていますね。

先日我が家にホームステイに来ていた、日本より暑い香港から来ている方でさえ、日本の暑さに驚いていました。地球環境のために、自分が出来ることをもっと真剣に考えなくてはと思います。

さて、今回は、セルラスの活動を通して、様々な発見をして変化したメンバーのお話をご紹介します。

【目次】

≪1≫ 「仲間の存在の大きさを実感」

兵庫県明石市在住 別宮さん（家族構成：夫 高3長男 中2二男 小5長女）

≪2≫ セルラス インフォメーション

≪1≫ 「仲間の存在の大きさを実感」

兵庫県明石市在住 別宮さん（家族構成：夫 高3長男 中2二男 小5長女）

【自分がやりたくて入会したのに、なかなか言葉が出てこない】

私は、独身時代に建築関係の仕事をしていたのですが、仕事を辞め、建物を見学するために10ヶ月ほどスペインに滞在していたことがありました。

帰国してからは、スペイン語を話す機会がないまま過ごしていましたが、セルラスに出会い、スペイン語を話しても恥ずかしくない環境があるのではないかと思い、興味を持ちました。

また自分の為だけに活動をする事にはためらいがありましたが、子どもと一緒に活動できることが入会への大きなきっかけとなりました。

3年前に入会した当初は、多言語 CD を聞くと全てを暗記しようとしてしまい、暗記できない自分に劣等感を持ってしまいました。

暗記して話そうとしても、暗記した通りに言おう、正しく言おうということに囚われて、ロールプレイでもなかなか言葉が出てこない状態でした。

ピアザのメンバーから「覚えなくていいんだよ。」「ちゃんとできなくてもいいんだよ。」と言われましたが、なかなかそこから抜け出せないで1年間が過ぎていきました。

【どんどん先に変化していく娘】

最初は、私に連れられて嫌がってピアザに来ていた小2の娘のほうは、自分のピアザはもちろん、ピアザを超えて様々な年代のメンバーとの交流の輪を広げ、親しくなるにつれ、多言語を話すようになっていきました。

言語を覚えるよりもまずは人と仲良くなって、その先に多言語を楽しめるようになっていた様でした。

また、娘にはお姉ちゃんがいなかったので、ピアザでお姉ちゃんたちに優しくしてもらえることが嬉しく、そのお姉ちゃんたちに憧れを抱くようになっていきました。

そんな娘の成長が見られなければ、私は辞めていたかもしれません。

【やっぱり、仲間の存在が大きかった】

そんな私が入会して1年が過ぎた頃、新しく入会したメンバーが一生懸命、多言語のセリフを暗記しようとしている姿を見て、「大変そうだな。そんなに頑張らなくてもいいのに。」と思うようになっていました。

いつの間にか多言語に対して、肩の力が抜けている自分に気がきました!

また、みんなからスペイン語を色々細かく質問されることが続いたとき、

「全部ちゃんと言えなくてもポイントだけでも伝わるよ。」と答えている自分がいました!

そして、いつの間にか、なかなか口にはできなかつた多言語が、ロールプレイやピアザで何気ない言葉話すときに出て来るようになっていました。

昔と比べてCDを聞く時間は変わらないですが、どんどん多言語を気負わずに話せるようになったように実感しています。

多分それは、ピアザで間違えを恐れず楽しみながら多言語を話しているメンバーの姿に影響を受け続けたのが、何よりも大きいと思います。

そして自分では気付けない自分の変化を、まわりのメンバーが口々に「すごいね!!」とほめて見つけてくれたからだと思います。

セルラスの活動の中で、仲間の存在の大きさを今しみじみと実感しています。

そしてピアザでの姿勢も、コーディネーターの言うことに任せるような受け身の姿勢から、自分から主体的にピアザの中で提案をしたり、意見を言ったりできるようになっていました。

また、ホームステイの受け入れなどで、多くの外国の方と接して来ましたが、間違いを気にすることが減った分だけ、その人や国を知りたいという興味が増えたように思います。

話す言葉(単語)にこだわって考えるよりも、言いたい内容を考えるようになったからでしょうか?

そして外国語を話すためには、気持ちや状況をシンプルな言葉に変換できるようになり、そういった力が、今外国語を話す上で一番大切な土台となっている気がしています。

いかがでしたでしょうか?

お話をうかがったとき、仲間がいたからこそ、娘も自分も変化し、またその変化に気づけたということから、改めて仲間の存在の大きさを言葉にしておられたのが印象的でした。

別宮さんは、ホームステイの受け入れも積極的にされ、いろんな外国の方々との出会いを楽しまれていて、娘さんもこの夏、韓国のホームステイに挑戦するので、また新たな発見や変化を感じられることでしょう。

★ご意見、ご感想をお寄せください。アドレスはこちら → kouhou@celulas.or.jp

〈2〉セルラス インフォメーション

◆9月のホリデースーパーピアザ

セルラスでは、この夏、韓国やアメリカでホームステイしたり、青少年サマーキャンプに参加する子供たちや、様々な国からの受け入れなどを体験したメンバーたちの報告が聞ける、ホリデースーパーピアザを各地域で行います。

体験していない人たちでも楽しめる企画が目白押しです。どうぞご家族でご参加ください。

▼関東

9/2（日）午後 渋谷区地域交流センター恵比寿

▼関西

9/9（日）午後 尼崎市立花地区会館

※詳しいことは、各地域のコーディネーターまたは

本部事務局 03-5333-8202 info@celulas.or.jp までご連絡ください。

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。

このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

最新号 10号では、「セルラスのホームステイ受け入れ」や今年のテーマである「ピアザ」&「多言語」について発見したこと等が特集として組まれています。

ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。⇒ http://celulas.or.jp/?page_id=399

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した講演会、セミナーに参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんに、月2回の予定でお送りしています。

セルラスの多言語活動や楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。